

平成一二年(あ)第六一一号

決 定

本籍 金沢市東力二丁目二八番地二
住居 同 北安江町四七九番地九

無 職

廣 野 秀 樹

昭和三九年一月二六日生

右の者に対する傷害被告事件について、平成一二年三月三〇日名古屋高等裁判所
金沢支部が言い渡した判決に対し、被告人から上告の申立てがあったので、当裁判
所は、次のとおり決定する。

主 文

一

二

本件上告を棄却する。

当審における未決勾留日数中四〇日を本刑に算入する。

理 由

弁護人山口治夫の上告趣意は、量刑不当の主張であり、被告人本人の上告趣意は、
事実誤認の主張であって、いずれも刑法四〇五条の上告理由に当たらない。

よって、同法四一四条、三八六条一項三号、一八一条一項ただし書、刑法二一条
により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

平成一二年八月三〇日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官

梶 谷

玄



これは謄本である
令和6年2月14日
金沢地方検察庁検察事務官

田中裕子



三

1113

裁判官

亀

山

継

夫



裁判官

北

川

弘

治



裁判官

福

田

博



裁判官

河

合

伸

一

